栃木産業人クラブ

情報交換 活発に

モノづくり県の底力示す

自動車・航空宇宙 医療関連など集積

栃木県は東京から60キロメートルの距離と近く、東北自動車道や北関東自動車道、東北新幹線などの交通インフラも充実している。県内総生産に占める第二次産業の割合が全国3位（2010年）の37・8％と高く、自動車や航空宇宙、医療関連の分野を中心に、大手企業や技術力のある中小企業が集結している「モノづくり県」として存在感を示している。

■地域ネットワーク

イチゴや二条大麦の産出額で日本一を誇るなど農業も盛んだ。県は10年に「フードバレーとちぎ推進協議会」を発足し、食をテーマに幅広い主体が交流して地域経済の発展を目指している。世界遺産である二社一寺などを有する日光をはじめ鬼怒川温泉や那須、足利など、観光資源も豊富だ。

13年は栃木県と宇都宮県が合併してから140周年の節目。県は「一緒に歩む 元気なとちぎ！」をサブテーマに、東日本大震災からの復興に向けた応援メッセージを発信するとともに、県の元気度を県内外に強くアピールしていく考えだ。

栃木産業人クラブ（高橋和夫会長＝大高商事社長）は他の産業人クラブに先駆け、1964年4月2日に「栃木工業人クラブ」として発足。産学官連携の草分けとして、地域のネットワークづくりに取り組んできた。14年には50周年を迎える。

初代会長には自動車や航空機の部品メーカーである栃木富士産業（栃木市、現GKNドライブラインジャパン）の栗原甚吾氏が就任。以後、今年8月に創立130周年を迎えた電設商社の藤井産業の藤井清氏、栃木富士産業の栗原義彦氏、自動車や航空機関連のギアで実績を持つ菊地歯車（足利市）の菊地義治氏、藤井産業の藤井昌一氏、バネメーカーとしてグローバルに活躍している村田発條（宇都宮市）の村田一郎氏らが歴任してきた。

産学官連携の草分け 来年50周年

7月の定時総会。「失敗しない経営承継」をテーマに講演する原口純一郎東京中小企業投資育成業務第五部長

■交流深める

現在の会長は大高商事（宇都宮市）の高橋和夫社長だ。同社はビルメンテナンスのほか、近年は宇都宮大学との産学官連携で農産物の鮮度維持機を開発するなど、モノづくりの分野でも実績を積んでいる。名誉会長は福田富一栃木県知事、副会長は永野尚富士重工業航空宇宙カンパニープレジデントが務めている。

会員企業として、栃木県の地方銀行である足利銀行と栃木銀行、宇都宮大学や帝京大学、県の産業振興センター、産業技術センターや、県内で自動車や航空機、機械関連の分野で活躍する有力企業が集結。意見交換などを通じて交流を深めている。

毎年10月ごろには日本機械学会栃木ブロックとの交流会を開催。12年度は宇都宮市内にある帝京大学理工学部航空宇宙工学科から久保田弘敏教授を講師に迎え、14年1月に打ち上げ予定の国産基幹ロケット「H2A」に搭載予定の小型人工衛星「Tei-kyo Sat-3」の開発について学んだ。微小重力環境や放射線で粘菌が受ける影響の解明など期待される成果や、学生の教育への寄与など、「栃木発（初）」衛星の可能性について、35人の参加者は熱心に耳を傾けていた。

毎年秋に開催している情報交換会では県や大学、地方銀行などが県内の課題などについて話し合うほか、県内企業が取り組み事例を発表している

■重点5分野

毎年11月には栃木県産業労働観光部との情報交換会を実施。県の産業労働観光部や産業振興センター、産業技術センター、足利銀行や栃木銀行、宇都宮大学や帝京大学からの出席者らが意見を交わしている。

12年度は県の重点5分野（自動車、航空機、医療機器、環境、光）の状況や、産学官連携、地域金融の役割などが主なテーマになった。

続いての事例発表では、エレクトロニクス技術をコアに医療用電子機器などの試作や生産、自社製品開発などに取り組んでいるアール・ティー・シー（上三川町）の桜井仙長社長と、地域でパンを製造販売するとともに最長37カ月の保存ができる缶詰パンを開発し知名度を高めたパン・アキモト（那須塩原市）の秋元義彦社長が自社の取り組みを発表した。

桜井社長は「受け身の下請けから提案型への転身」をテーマに「幅広い横断技術を融合することで、技術力向上や顧客からの信頼獲得につなげている」と語った。秋元社長はパンの缶詰を非常食として2年間備蓄した後、飢餓に苦しむ国々に義援物資として届ける「救缶鳥プロジェクト」の取り組みを紹介した。

13年の賀詞交歓会ではスズキプレシオン（鹿沼市）の鈴木庸介会長が「部品加工会社の新展開―新規分野開拓と自社製品開発」と題して講演。同社は切削加工をコア技術に、自動車や半導体装置などの部品を生産している。下請けからの脱却を目指し、医療機器や工作機械分野で自社製品の開発などにも積極的だ。

CNC自動旋盤用4倍速スピンドルの開発では、12年に「㊙モノづくり部品大賞」（モノづくり日本会議、日刊工業新聞社主催）の日本力賞を受賞した。「医療機器分野には中小企業の活躍の場が大いにある」「中小企業が新規参入をするためには自社の強みを自覚したうえで、社員が一丸となりとにかく体験してみることが大切」と約60人の参加者を鼓舞した。

■「経営承継」で講演

7月の第50回定時総会では会員である東京中小企業投資育成（東京都渋谷区）の原口純一郎業務第五部長が「失敗しない経営承継」と題して講演。経営承継に関する最近のトピックスを交え、「大半の経営者にとって経営承継は初めての経験。誤った判断に気づきにくい」として後継者教育や株主選びの重要性などを説明した。

栃木産業人クラブは12年9月に群馬産業人クラブとゴルフ大会を共催するなど、他地域の産業人クラブとの連携も模索している。

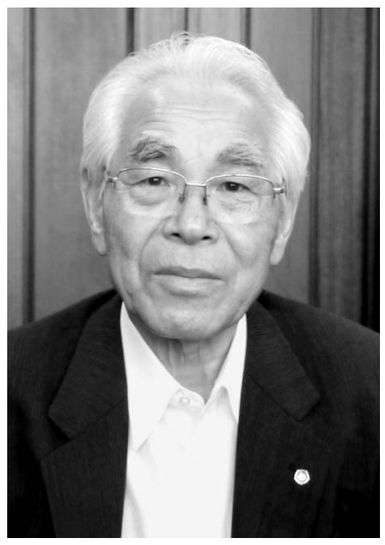
概　要

◇1964年（昭39）4月2日設立　会員数67人
◇事務局所在地 ＝ 宇都宮市本町10の3、TSビル4階
（日刊工業新聞社栃木支局内）
◇電話 ＝ 028・622・0307

特集・挑戦する日本の経営者たち

会長インタビュー

他地域のクラブと連携積極化



高橋 和夫 氏
（大高商事社長）

―現在の経済情勢をどのように見ていますか。

「景気が良くなったと言われていますが、あくまで東京や大手企業の話だと感じます。地方の中小企業経営者らが実感するには、もう少し時間がかかると見ています。ただ今までは全体的に沈んだムードでしたが、業種によっては手応えを感じられるようになっているのではないでしょうか」

―厳しい環境下で中小企業が生き残るには、どのような取り組みが必要だと考えていますか。

「指をくわえて見ていれば状況が良くなる訳ではありません。企業のトップがピンチをチャンスと捉え、いかに積極的に改革できるかにかかっています。今までの企業は『周りが何とかしてくれる』と考えていました。依存体質が強くてもバブル期ならば成長できたかもしれませんが、今は生き残れません。取り組む姿勢や考え方を変えることで、少しでも前進できます」

―具体的にはどのような取り組みが必要ですか。

「『良いモノを作った』だけでは売れません。売っていくためには積極的に展示会や商談会などに参加し、自分から発信していくべきです。当社は県外の展示会などに参加していますが、栃木県の企業の出展は少ないと感じています。グローバル化社会では『オレはこうする』『こんなモノを作った』とアピールしていく必要があります」

―栃木県内にはモノづくりだけでなく農産物の生産も盛んで、有名な観光地も多くあります。

「環境に恵まれていることで、苦労しなくても何とかなるという考えに漬かってしまっているのも事実。外に出ていろんな人と名刺交換や会話をして、つながりを増やしていく姿勢が重要です。構えてしまわずに、大学などを訪ねるのも良いのではないでしょうか。素人発想だからこそ生まれる商品もあります。『無理だ』と言っていたら何もできません」

―産業人クラブにはどのような役割や活動が求められていると考えますか。

「会員どうしの情報交換を活発にしたいと思います。そのために気軽に会って話せる環境をもっと作りたいです。企業のトップ向けセミナーや若手の会など、イベントや場を作ることが大切です。また産業人クラブのネットワークを生かし、工場見学会と交流会を組み合わせるなどして、他地域の産業人クラブ会員との連携も積極化したいと思います。『栃木産業人クラブに入って良かった』と会員が感じられる運営をできればと思います。連携は大切。それぞれの得意分野を持ち寄ることで、良いモノやサービスを生んだり、社会貢献をしたりといったことが可能になります。1＋1は2ではなく、5にも10にもなるのです」

〔栃　木〕 切削工具再研磨および製作
代表取締役 吉成重雄
有限会社吉成工具研磨
〒329-1311 栃木県さくら市氏家3471-34
TEL.028(682)1814 FAX.028(682)0537

〔栃　木〕 ステンレスポンプ、定量自動充填機
代表取締役 花塚直
株式会社花塚製作所
〒320-0075 栃木県宇都宮市宝木本町1241
TEL.028(665)2831 FAX.028(665)1957
URL：http://www.hanatsuka.co.jp

First for You
あなたの一番に
TOCHIGI 栃木銀行
http://www.tochigibank.co.jp

人 花 果物 野菜
みんないきいき！
鮮度維持機
いきいきくん
「いきいきくん」は、花や野菜・果物の鮮度維持並びに除菌を目的に開発されました。
冷蔵庫内やショーケース内の商品を、より長持ちさせる特許技術が搭載されています。
OHラジカル発生機能搭載
いきいきくんⅠ（1坪タイプ）
いきいきくんⅢ（3坪タイプ）
DAIKOH 株式会社 大高商事
栃木県宇都宮市宝木本町1474番地5 URL http://www.daikoh.net
TEL.028-665-1911㈹ FAX.028-665-1919

その先の技術へ KIKUCHI
JISQ9100・ISO14001認証取得
高精度歯車
開発段階からご相談ください
深い経験とノウハウで最適な提案・製作が可能です。
http://www.kikuchigear.co.jp
KGK 菊地歯車株式会社
〒326-0332 栃木県足利市福富新町726-30
TEL 0284-71-4315 FAX 0284-72-6519

Anniversary thanks smart Fair Fujii Sangyo 130th
創業130周年記念展示会
入場無料
スマートフェア開催
「創エネ・省エネ・蓄エネ」「安心・安全」をテーマに、商品の展示及び実演。また、業界ならではの旬なトピックスセミナーを開催！
9/13(金) 10:00～17:00
会場 マロニエプラザ 大展示場
宇都宮市元今泉6-1-37
■主催：藤井産業株式会社
■協賛：出展企業52社
藤井産業株式会社
住所：宇都宮市平出工業団地41-3 電話：028-662-6018 （担当：渡辺・杉浦）
メガソーラー現地見学会同時開催
事業用土地、遊休地活用をお考えの方及びメガソーラー事業にご興味のある方のご参加をお待ちしております。
現地：鹿沼ソーラーファーム
所在地：鹿沼市磯町字当山355
最大出力(kW):1,713kW 年間発電量(kWh): 約1,800,000kWh
日時：9月13日(金)
■午前10時から(1時間)20名様限定 ■午後2時から(1時間)20名様限定
●見学会お申し込みは 0120-157-221 通話無料 平日9:00～17:00 （担当：友常・中村）
詳細は当社ホームページ http://www.fujii.co.jp/ まで